

水質調査結果から

町の主要河川である五行川・野元川・大川の平成19年度の水質調査結果がまとまりました。環境対策課環境対策係 〔8028(67)6041〕

守ろう！豊かな水環境

水質調査を実施

町を流れる五行川・野元川・大川は、町民の生活や産業の基盤で、町の中央を流れる五行川・野元川流域は県内でも有数の穀倉地帯です。

東の台地は、古くから梨の特産地、西の台地は、大規模な芳賀工業団地や芳賀・高根沢工業団地となっています。

農と工の調和とともに環境汚染・健康被害が出ないように、町では調査地点を定期的に水質調査をし、環境をチェックしています。

町の豊かな水環境を良好に保全していくためには、水利の環境負荷を限りなく少なくするとともに、自然保護・環境保全を図って行かなければなりません。町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

五行川(5カ所)、野元川(5カ所)、大川(2カ所)の3河川12カ所で環境項目(生活環境の保全に関する環境基準)および健康項目(人の健康の保護に関する環境基準)についての調査を行いました(結果は下表参照)。環境項目では、BOD値を見ると適合率97・9%と前年よりも良い数値となりました。

大腸菌群数については、適合率が悪い状況が続いていますが、川の水を直接飲用としない限り、日常生活への影響はほとんどありません。健康項目はすべて基準値以内で、重金属や有機塩素化合物などの有害物質は検出されませんでした。

○農業用水や溜池も調査
3河川以外にも、工業団地の雨水排水が流入する谷津川

や唐桶溜でも調査を実施しています。谷津川は3カ所で調査を実施しましたが、BOD値の適合率は100%、健康項目はすべて基準値以内であり、有害物質は検出されませんでした。また、唐桶溜でも湖沼の汚濁の目安となるCOD値(基準値5㎖)が年平均3・0㎖と安定した数値になっています。



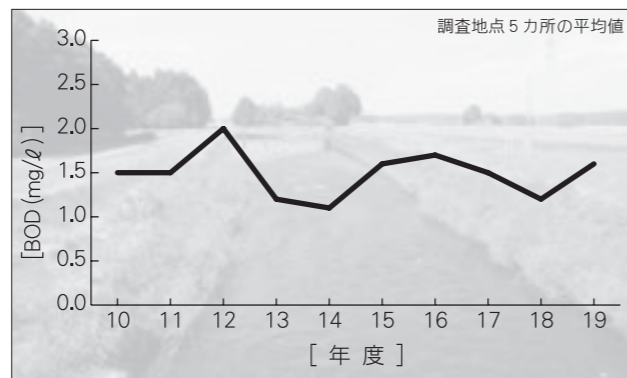
○工業団地の排水は？

工業団地の事業所からの排水は、各事業所で処理された後、工業団地排水処理センターに流入し、3次処理されて野元川に放流されています。排水処理センターからの排水については、毎月、野元川の放流口で30項目の調査を実施していますが、全項目で基準値をクリアしています。

五行川

五行川では、一切行橋、五行橋(上延生)、奈賀橋、五行橋(東高橋)、若橋の5カ所で調査を実施しました。

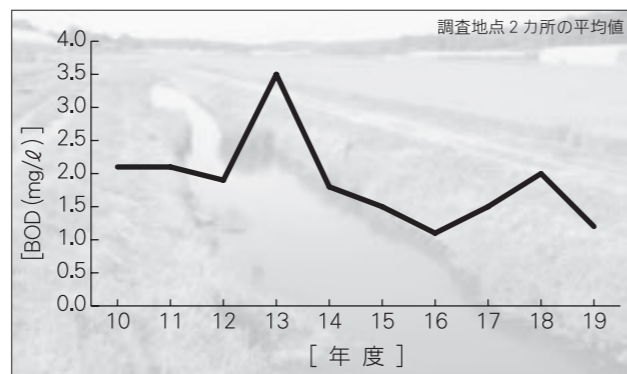
BOD値については、すべてのポイントで基準値(2.0mg/l)以内となり、大腸菌群数については、すべての調査で不適合という結果でした。



大川

大川では小貝橋(給部)と西原橋の2カ所で6回調査を実施しました。

BOD値が1回、基準値(2.0mg/l)を超えましたが、年平均値は1.2mg/lと基準値以内になりました。また、大腸菌群数については、すべての調査で不適合という結果になりました。



BOD値の経年変化

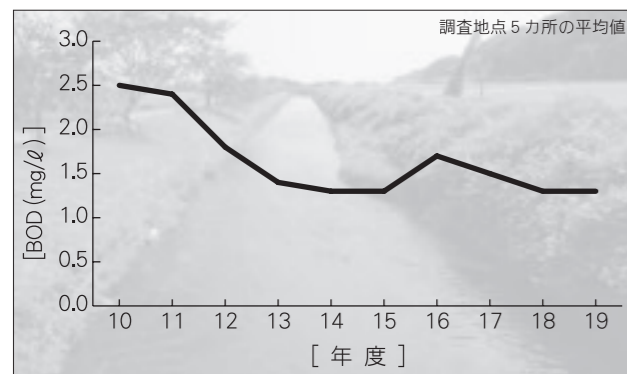
河川の汚れ具合をBOD値の経年変化で見ると、五行川では平成12年度から7年続けて、野元川でも8年続けて基準値(2mg/l)以内になっています。前年度基準値を上回った大川でも、19年度は基準値以内の数値に落ち着きました。

※BOD(生物化学的酸素要求量)
水中の有機物が微生物により酸化分解(污水が微生物により浄化)される時に消費される酸素量のこと。この数値が大きいほど、水の汚れは激しいと言える。

野元川

野元川では、風熊橋、宮田下橋、杭の内橋、監物橋、末流管理橋の5カ所で調査を実施しました。

BOD値の適合率は100%でしたが、大腸菌群数については、11.1%の適合率にとどまりました。



河川名	PH		BOD		S S		DO		大腸菌群数		計	
	適合数/調査数	%	適合数/調査数	%	適合数/調査数	%	適合数/調査数	%	適合数/調査数	%	適合数/調査数	%
五行川	17/18	94.4	18/18	100	18/18	100	17/18	94.4	0/18	0.0	70/90	77.8
野元川	18/18	100	18/18	100	18/18	100	18/18	100	2/18	11.1	74/90	82.2
大川	12/12	100	11/12	91.7	12/12	100	12/12	100	0/12	0.0	47/60	78.3
計	47/48	97.9	47/48	97.9	48/48	100	47/48	97.9	2/48	4.2	191/240	79.6
前年度計	48/48	100	46/48	95.8	46/48	95.8	48/48	100	5/48	10.4	193/240	80.4